

スカイパーフェク TV! と NHK におけるサッカー中継の実況アナウンスの比較・検証
A comparison and verification of the announcement in SKY Perfec TV! and NHK of a soccer relay broadcast.

1K08B234-1 横田脩介

指導教員 主査：リー・トンプソン先生 副査：松岡宏高先生

【序論】

2010FIFA ワールドカップ南アフリカ大会において、日本代表はアウェイの地では初めてとなる決勝トーナメント進出を果たした。2011 年 11 月現在、欧州トップリーグに所属する選手は 30 人を超え、日本サッカー界はその歴史上全盛期を迎えていると言える。

技術的には世界と肩を並べたと言われる日本サッカーであるが、今後、それ以上に発展していくにはどのようなことが必要であろうか。

今回は、元日本代表の中村俊輔が著書『察知力』の中やテレビ朝日系列で 2007 年に放送された『Getsports』でのインタビューにおいて、「ヨーロッパのサッカーはファンのレベルも高く、それにつられて、選手のレベルも高くなっている」と語っていたことから、ファンの質の向上が日本サッカーの発展に必要なだと考えた。

またその中でも、サッカーのテレビ中継における実況アナウンスが視聴者にどのような影響を与えているかに着目し、どのようなサッカー中継が日本のサッカーファンの質向上に繋がるのか、質の高いサッカー中継とは何かについて考えたい。

【研究方法】

J リーグの 2 試合において、スカイパーフェク TV! と NHK の 2 つ放送局で放送された番組を比較、検証する。対象試合は以下の 2 試合。

- ・2011 年 8 月 20 日 名古屋グランパス対ベガルタ仙台
- ・2011 年 8 月 24 日 浦和レッズ対サンフレッチェ広島

わざわざお金を払って観るほどのコアファンの視聴者が多いと考えられるスカイパーフェク TV! のサッカー中継の方が「質の高いサッカー中継」である、と仮定し、また、今回の調査では、戦術的な内容に多く言及するものを「質の高いサッカー中継」と仮定し、仮説を「スカイパーフェク TV! における中継の方が、NHK に比べボールのないところでの試合説明の時間（回数）が長い」とした。

試合開始から試合終了までの 90 分間を研究対象とし、全ての実況コメントを 7 つの項目に分類した。

1. 画面を追った説明

2. ボールのないところでの試合説明

3. 直前のプレーに対するコメント

4. 直接当ゲーム関係のない情報

5. 解説者への問いかけ

6. コメント紹介

7. その他

以上 7 項目でその文字数を計測し、全体の文字数からの割合を比較する。

【結果・考察】

2 試合共に、NHK における中継の方がボールのないところでの試合説明にかける時間が長く、仮説とは異なる結果となった。NHK で放送された浦和レッズ対サンフレッチェ広島では、代表候補選手が多く出場し、また解説を日本代表のコーチやオリンピック代表の監督を歴任した山本昌邦が務めこともあってか、代表選手に関するコメントが非常に多かった。このように、スカイパーフェク TV!、NHK と放送局に関わらず、対戦カード、選手やチームの状況、実況・解説者によって、コメントする内容は変わると考えられる。

仮説以外の点では、スカイパーフェク TV! の方が NHK に比べ 2,000 字～3,000 字コメント数が少なかった。これは時間にすると約 10 分弱であり、スカイパーフェク TV! の方が「視聴者が観る」時間が長いということが言える。また、実況者が・解説者へ問いかける際、スカイパーフェク TV! では試合開始直後を除き YES、NO で答えられる問いかけをしているのに対し、NHK では、実況者が「どのように考えますか」、「どう感じますか」等の言い回しを多く使っていた。

【結論】

今回の調査では「質の高いサッカー中継」を明確に定義することは出来なかったが、コメント数の違いや、一つ一つのコメントを見てみると、スカイパーフェク TV! の方がより自然に試合解説を行っているように感じた。今後は視聴者に対しての調査や、実況・解説者毎に分析をするなど、様々な視点からの調査が必要であろう。あるいは、一つ一つのコメントをより深く分析していくことも必要であると感じた。